

国文学研究資料館蔵「古筆手鑑」(ラ3-38) 影印・解題

金子 馨

*キーワード

古筆切・手鑑・古筆鑑定・伝称筆者・久曾神昇

はじめに

国文学研究資料館に所蔵される「古筆手鑑」(ラ3-38)を影印・紹介

する。本手鑑は平成十四年(二〇〇二)に収蔵された資料で、もとは久

曾神昇氏の旧蔵資料である。所収される古筆切のうち、重要と見なされ

たものについては、久曾神昇『古筆切影印解説 久曾神コレクションI

Ⅳ』(風間書房、一九九五〜二〇一〇年)、『私撰集残簡集成』(汲古書

院、一九九九年)や『和漢朗詠集切集成』(汲古書院、一九八六年)など

に収載される。手鑑に収載される古筆切の概要は、当館OPACにも一

部記載されるが、詳細を示した細目などは附されておらず、利用の便が

よいとは言えない状態にある。全体の画像についても、ウェブサイト上

に掲載されていないため、本稿において手鑑の影印を掲載し、全容を紹

介したい。なお、本稿では古筆切個々の画像データを利用する際の補助

情報として、同手鑑に押された古筆切の書写内容を一覧とした。各古筆

切に関する解説は、前掲書に掲載されるため、「参考」として一覧にて紐

付けた。なお、資料情報の提示を主としたため、伝称筆者の伝記やツレ
に関する情報については省略した。それらについては、当館の「古筆切
所収情報データベース」⁽²⁾を併せてご利用願いたい。

解題

〔書誌〕

古筆手鑑(ラ3-38)

〔平安時代〕〜〔桃山時代〕写 一帖

折帖装。格子に花文を織り出す金欄緞子表紙、題簽等はない。見返し

は布目の金箔が押されている。表紙寸法は、縦三九・五糎×横二五・四

糎。全十四折、表に二十八葉、裏に二十九葉、計五十七葉が収載される。

古筆切の右肩には極札が貼付される。台紙には、全体的に古筆切が剥が

された跡(貼り替えられた跡)が見られるほか、大きな損傷は見られな

い。各古筆切の脇に鉛筆でメモ書きが記される。

本帖は二重箱に収められ、内箱は黒漆の塗箱(桐、丸に三柏、菊紋の

蒔絵)で、寸法は縦四二・〇糎×横二七・八糎×高さ六・四糎。外箱は桐箱で、寸法は縦四五・三糎×横三一・〇糎×高さ一〇・〇糎、中央に「御手鑑 一帖」との書き題簽が貼付される。

〔概要〕

本帖に押される古筆切には極札が附されているが、同じ人物の極めというわけではない。つまり、手鑑作成時に統一的に附されたのではなく、古筆切個々に附属していた極札がそのまま貼付されたものであろう。ただし、伝称筆者のみが記される略式の札や貼付されないものも散見される。なお、所収される古筆切は、大凡次のような配列で貼付される。

表 1	白川院	表 12	後円融院
表 2	後鳥羽院	表 13	後花園院
表 3	龜山院	表 14	尊円親王
表 4	龜山院	表 15	覚誉
表 5	後伏見院	表 16	後京極良経
表 6	後二条院	表 17	九条教家
表 7	後二条院	表 18	一条兼良
表 8	後醍醐天皇	表 19	藤原基忠
表 9	後光厳院	表 20	小倉實教
表 10	後光厳院	表 21	小倉實名
表 11	後円融院	表 22	飛鳥井雅有
		表 23	世尊寺行能
		表 24	世尊寺経朝
		表 25	世尊寺行俊
		表 26	藤原清輔
		表 27	藤原家隆
		表 28	源頼政
		裏 1	俊寛
		裏 2	慈鎮
		裏 3	西行
		裏 4	寂蓮

裏 5	西山慈寛
裏 6	果守
裏 7	頓阿
裏 8	兼好
裏 9	浄弁
裏 10	慶運
裏 11	藤原俊成
裏 12	藤原為家
裏 13	藤原為家
裏 14	二条為氏
裏 15	二条光家
裏 16	京極為兼
裏 17	二条為世
裏 18	二条為雄
裏 19	二条為遠
裏 20	二条為藤
裏 21	二条為親
裏 22	二条為定
裏 23	二条為明
裏 24	二条為重
裏 25	慶融
裏 26	冷泉為相

裏 27	津守國冬
裏 28	津守國夏
裏 29	民部卿局

手鑑に貼付される順序（配列）は、古筆家の鑑定の指針（資料）として手鑑が用いられるようになるにつれて、一定の配列で貼り込まれる。

笠原祥雨著『手鑑行列』には、「勅筆・親王家及び撰家・清花とつづけ、その次に名人の部をたてて、貫之ならびに三蹟の類を初め、時代官位に関わらず有職・歌道・智徳・名譽拔群の人を挙たり。次に世尊寺家は入木道の棟梁たる故也。次に大臣家を先として、諸卿を列す。その末に至て、歌道の好人、また儒醫・茶人・能書等ならびに唐筆を出す。裏は聖徳太子を最初として経切の類を次第せり。その次に諸門主、次に二条・冷泉家、次に女筆、武家及び神官等、次に諸中ならびに連歌師等也」と記される。本手鑑に収載される古筆切も、勅筆（天皇）から始まり、裏面の女筆で終わるという一応の連続性（配列）が認められる。

しかし、前述したとおり、同一の鑑定家の極札が附されていないことから、それぞれの古筆切は個別に収集され、適宜、一般的とされる順序に従って配列されたと推察される。

〔書写内容〕

後掲表は、本手鑑の所収内容を示したものである。本手鑑は歌切五十葉、経切一葉、その他（漢文・文書）一葉を収めている。歌切は『古

今和歌集』をはじめとする勅撰和歌集の断簡がその中心をしめるが、書写内容の詳細については後掲表を参照されたい。また、表中の「伝称筆者」は、原則として極札に記される内容を掲載した。また、極札の筆跡や印によって鑑定者が特定できる場合は、一覧に示した。

その他、掲載した項目は、「内容（出典）」、「巻」、「部立」、「書写内容（冒頭・末尾）」、「書き出し」、「材質」、「寸法」、「字面高さ（罫線・界線のあるものはその高さ）」、「書写年代」などを掲載した。掲載内容は、実見して得られた情報や調査した成果を示した。「備考」には参考となる情報を示した。

また、本手鑑に収載される古筆切の多くは、久曾神氏の御著書によって紹介されているものが多い。そのため、「参考」として、掲載が確認される古筆切については、久曾神昇『古筆切影印解説 久曾神コレクションⅠ～Ⅳ』、『私撰集残簡集成』、『和漢朗詠集切集成』の略号と掲載されるページ数（図版、解説）などを記載した。

【凡例】

(1) 本目録を作成するにあたっては、可能な限り原本に忠実に翻刻するようにとめたが、読みやすさへの配慮から次のような処置をとった。

- ア. 平仮名・片仮名は、現行の字体に統一した。
- イ. 本文に存する記号・注記・校異・返り点・送り仮名の類いは、原則として省略した。

ウ. 改行は「/」で示し、平仮名の繰り返し記号（踊り字）は、「ヽ」で統一した。

(2) 「内容」は、貼付されている古筆切の内容が特定できる場合は、その内容（出典）、巻数・部立、箇所（冒頭・末尾の歌番号など）を表示した。表記は左記の記号等で示した。

ア. 和歌 『新編国歌大観』番号（但し『万葉集』は、『国歌大観』番号）。

イ. 經典類 大正新脩大藏經に基づくSAT大正新脩大藏經テキストデータベース (<http://2idzk.1.u-tokyo.ac.jp/SAT/>) により提供される番号（それぞれの記号は、↓經典番号、↓以下↓大正新脩大藏經の巻数・+ページ数、段の別（a↓上段、b↓中段。c↓下段）+当該段冒頭からの行数。例えばT0279. 10. 0208c29は、經典番号279（↓大方広仏華嚴經）、大正新脩大藏經第10巻所収、208頁下段29行目となる。

また、複数該当する場合は、原則として成立の古いものを表示した。詳細を特定できなかった場合は、想定される内容（歌集・物語・仏書・書状・詠草など）を記した。

(3) 「書き出し」は、原則として冒頭の五文字程度を記し、古筆切によっては数行分表示した。

(4) 書写年代は、原則として通例に従い、推定の場合は「」に記した。

(5) 「極札」は、貼付された極札の内容(筆跡・印)より推定した。鑑定者が不明の場合は「不明」、極札が貼付されていない場合は「―」と表示した。

(6) 久曾神氏の御著書によって、収載される古筆切が紹介されている場合は、「参考」として、掲載誌の略号とページ数を記載した。略号は左記の通りである。

『古筆切影印解説 久曾神コレクションⅠⅡⅢⅣ』↓影印ⅠⅡⅢⅣ
『私撰集残簡集成』 ↓私撰
『和漢朗詠集切集成』↓朗詠

【注】

(1) 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国文学研究資料館「図書・雑誌所蔵目録(OPAC)」に、簡単な書誌情報が掲載される
([https://opac.nijl.ac.jp/search/detail.do?rowIndex=11&method=detail&libId=2140000585](https://opac.nijl.ac.jp/search/detail.do?rowIndex=11&met hod=detail&libId=2140000585))。

(2) 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国文学研究資料館「古筆切所収情報データベース」
(<http://basel.nijl.ac.jp/~kohitu/>)

(3) 笠原祥雨『手鑑行列』(静嘉堂文庫蔵、袋綴一冊、「古筆切目安」合写)、私に句読点を付す。

【付記】

本稿の調査、及び校正など編集作業において、石丸真弥氏(資料整理等補助員)のご助力を得ました。ここに記して御礼申し上げます。

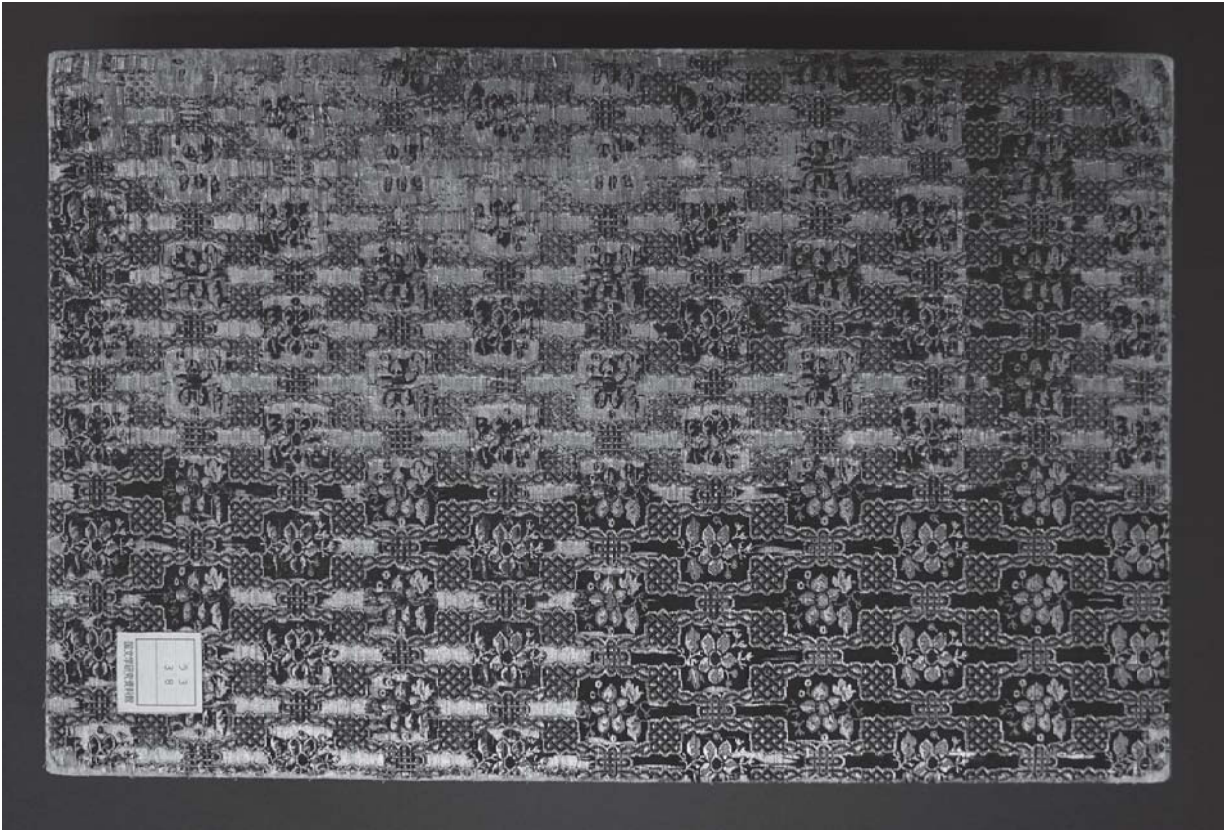
書き出し	材質	寸法 (縦×横cm)	字面高さ (cm)	書写年代	極札	備考	参考
摩羅跋梅檀香	紺紙金字	29.2×4.8	22.5	〔平安時代〕	古筆了仲		
題不知／たら ちねの	紙本墨書	21.6×13.5	20.0	〔鎌倉時代〕	不明		影印Ⅲ p.21、p.285・286
ふみなるゝ	紙本墨書	27.2×21.3	18.5	〔鎌倉時代〕	古筆了音	金銀切箔・ 砂子霞引き	
君こすは	紙本墨書	26.2×8.5	23.3	〔鎌倉時代〕	古筆了音		影印Ⅰ p.105、p.388・389
なからんあとの	紙本墨書	21.6×17.5	17.4	〔南北朝時代〕	不明		私撰 p.182・183
承暦二年内裏の	紙本墨書	24.1×15.9	20.0	〔鎌倉時代〕	古筆了任		影印Ⅲ p.56・310
人のゆふかた	紙本墨書	21.3×10.1	21.0	〔室町時代〕	不明		影印Ⅱ p.185・470
よのつねに	紙本墨書	30.2×15.2	26.0	〔室町時代〕	不明	金剛院切等と同様 の定数歌か	
題不知 よみ人不知	紙本墨書	16.5×14.7	14.5	〔室町時代〕	古筆了任		影印Ⅱ p.59、p.362・363
にたひ人紅葉の	紙本墨書	25.5×16.9	22.0	〔室町時代〕	木村見室		影印Ⅱ p.106、p.407・408
おほ空を	紙本墨書	22.1×16.1	19.6	〔室町時代〕	正長	金界線・罨線	
ちるをたに	紙本墨書	27.0×10.4	22.0	〔室町時代〕	古筆了栄	打曇(藍紫)、金銀切箔・砂子霞引き、 金銀泥下絵、金剛院切同様の定数歌か	
月をたに	紙本墨書	23.8×12.7	29.0	〔室町時代〕	古筆了音	打曇(藍紫)、金銀泥下絵、 金剛院切同様の定数歌か	
奈吳乃海之	紙本墨書	32.4×9.1	28.9	〔鎌倉時代〕	古筆了佐	金界線 裏面(青蓮院殿尊 円親王) 書付け有	私撰 p.12・13
恋五首哥合に	紙本墨書	24.6×16.8	23.2	〔室町時代〕	不明		影印Ⅳ p.207、p.449・450
四十尺之餘	紙本墨書	24.2×15.0	21.0	〔鎌倉時代〕	不明		朗詠 p.48・49
見天台山之高巖	紙本墨書	29.8×18.2	27.0	〔鎌倉時代〕	不明		朗詠 p.80・81
あき風に	紙本墨書	25.4×18.3	22.5	〔室町時代〕	古筆了仲	朱声点	影印Ⅰ p.264、p.510～512
かはたけ	紙本墨書	25.2×17.4	22.0	〔室町時代〕	川勝宗久		影印Ⅰ p.132・409
ぬれにし袖と	紙本墨書	23.2×14.2	20.8	〔室町時代〕	畠山牛庵 (二代)		影印Ⅰ p.210、p.471・472
さくらの花の	紙本墨書	23.4×16.0	22.1	〔室町時代〕	古筆了栄		影印Ⅰ p.238、p.491・492
たりけるに	紙本墨書	24.4×9.4	22.2	〔鎌倉時代〕	—	打曇(藍)	影印Ⅱ p.147、p.441・442
冬夜	紙本墨書	29.0×13.5	25.5	〔鎌倉時代〕	不明		朗詠 p.74・75
うれしくは	紙本墨書	26.2×16.5	20.3	〔室町時代〕	浅井不権		影印Ⅱ p.238、p.518・519
まとをにあれや	紙本墨書	23.5×16.0	22.3	〔室町時代〕	古筆了音		影印Ⅰ p.243、p.495・496
くれなゐの	紙本墨書	26.0×16.3	20.2	〔鎌倉時代〕	朝倉茂入 (二代)		影印Ⅰ p.57、p.351・352
刑部卿頼輔哥合	紙本墨書	17.3×17.6	15.0	〔室町時代〕	不明		影印Ⅲ p.18、p.282・283
山にいりて	紙本墨書	16.8×16.6	15.0	〔室町時代〕	不明		影印Ⅰ p.46・344

国文学研究資料館蔵「古筆手鑑」(ラ3-38) 収載古筆切一覧

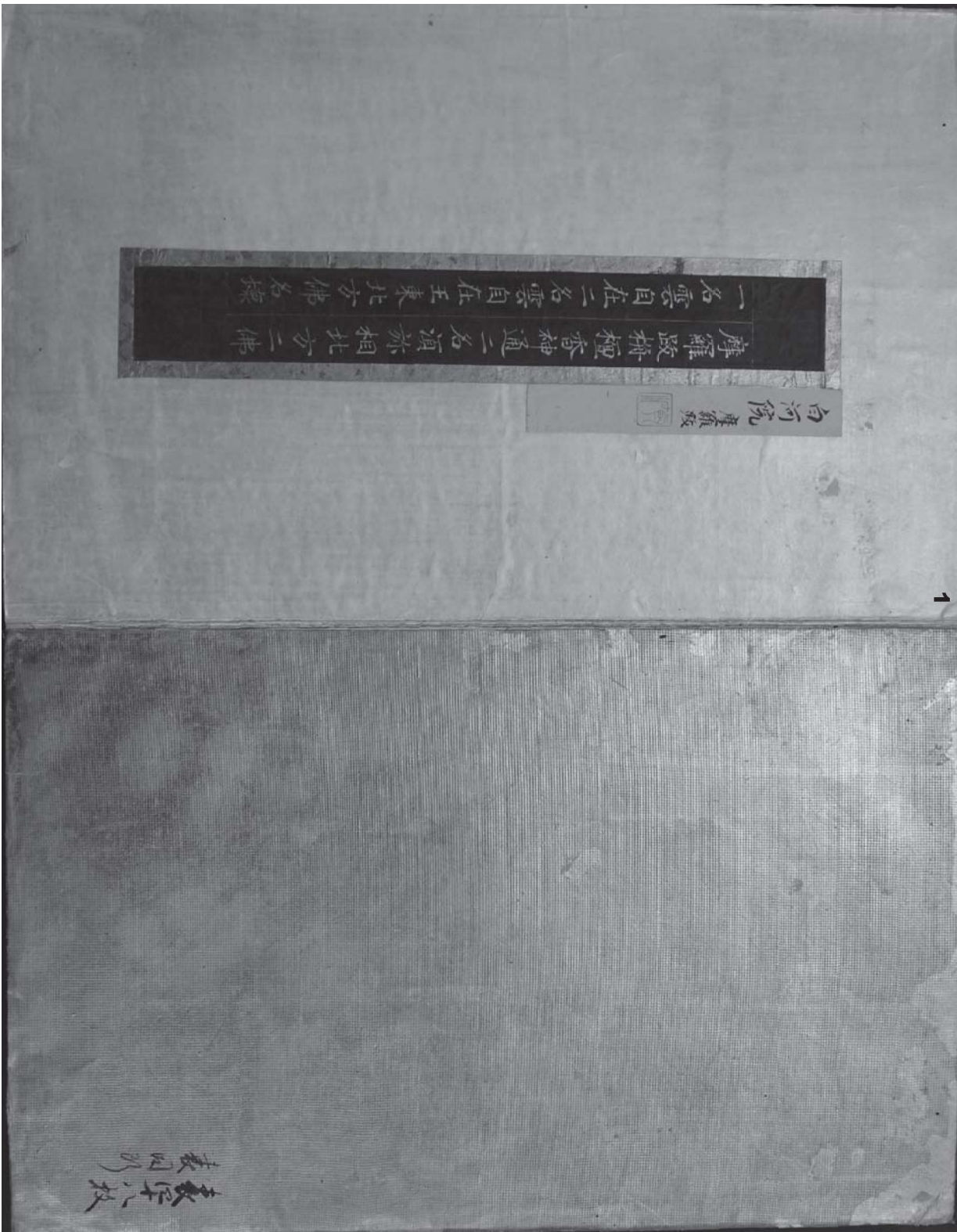
通番	位置	番号	切名	伝称筆者	内容(出典)	卷	部立	書写内容(冒頭)	書写内容(末尾)
1	表	1		白川院	妙法蓮華經	3	藥草喻品第五	T0262_09.0025c03	T0262_09.0025c05
2	表	2	水無瀬切	後鳥羽院	新古今和歌集	18	雑下	1812番歌	1813番歌詞書
3	表	3	金剛院類切	龜山院	未詳歌集 (詳定数歌か)				
4	表	4		龜山院	古今和歌集	14	恋4	693番歌	696番歌
5	表	5	桂切	後伏見院	風葉和歌集	7	釈教	498番歌下句	500番歌作者名
6	表	6		後二条院	新古今和歌集	7	賀	730番歌	732番歌詞書
7	表	7	浅井切	後二条院	金葉和歌集	8	恋下	483番詞書	484番歌詞書
8	表	8		後醍醐天皇	未詳歌集				
9	表	9		後光厳院	拾遺抄	10	雑下	562番歌詞書	564番歌上句
10	表	10		後光厳院	拾遺和歌集	3	秋	204番歌詞書	206番歌作者名
11	表	11		後円融院	新古今和歌集	4	秋上	313番歌	315番歌
12	表	12	竹屋切	後円融院	未詳歌集				
13	表	13		後花園院	未詳歌集				
14	表	14	金沢文庫切	青蓮院殿尊円親王	万葉集(金沢文庫本)	7	雑	1159番歌	1160番歌
15	表	15		覚誉	風雅和歌集	12	恋三	1184番歌詞書	1188番歌作者名
16	表	16		後京極良経卿	和漢朗詠集	下	晴	411番句第四句	413番句
17	表	17		九條殿教家卿	和漢朗詠集	下	眺望	626番句	630番歌
18	表	18		一条殿兼良公	古今和歌集	12	恋二	586番歌	592番歌
19	表	19	小倉切	鷹司殿基忠公	古今和歌集	10	物名	452番歌詞書	454番歌詞書
20	表	20		小倉典重槐實教卿	古今和歌集	12	恋二	577番歌下句	579番歌
21	表	21		小倉殿實名卿	古今和歌集	1	春上	67番歌詞書	68番歌
22	表	22	八幡切	[飛鳥井雅有]	後拾遺和歌集	8	別	463番歌詞書中途	463番歌上句
23	表	23		世尊寺行能卿	和漢朗詠集	上	冬夜	356番句	358番歌
24	表	24		世尊寺殿経朝卿	千載和歌集	12	恋二	709番歌	711番歌上句
25	表	25		世尊寺行俊卿	古今和歌集	15	恋五	758番歌下句	762番歌上句
26	表	26	内裏切	藤原清輔	古今和歌集	13	恋三	661番歌	664番歌上句
27	表	27		従二位家隆	新古今和歌集	3	夏	274番歌詞書	276番歌
28	表	28		源三位頼政卿	古今和歌集	2	春下	119番歌詞書中途	121番歌

書き出し	材質	寸法 (縦×横cm)	字面高さ (cm)	書写年代	極札	備考	参考
ぬれてほす	紙本墨書	23.4×14.3	23.0	〔鎌倉時代〕	古筆了榮		影印Ⅰ p.38・339
とのもりの	紙本墨書	19.2×16.0	15.8	〔鎌倉時代〕	古筆了榮		影印Ⅱ p.66、p.380・381
閑居屬於誰人	紙本墨書	28.2×4.9	24.8	〔鎌倉時代〕	不明	朱声点	朗詠 p.40・41
清人盡	紙本墨書	22.5×5.7	21.8	〔室町時代〕	不明		
たにふかみ	紙本墨書	23.4×16.4	19.3	〔室町時代〕	古筆了雪		影印Ⅲ p.143・373
鳴すてゝ	紙本墨書	24.3×16.0	19.0	〔室町時代〕	古筆了珉		影印Ⅳ p.139、p.390・391
踏翠嶺而西	紙本墨書	28.5×19.1	26.0	〔室町時代〕	朝倉茂入		朗詠 p.140・141
あふみふり	紙本墨書	23.4×13.5	18.5	〔鎌倉時代〕	不明		影印Ⅰ p.179・445
たつた河に	紙本墨書	24.6×11.4	22.7	〔鎌倉時代〕	古筆了珉	左端 1.6センチ の予備継有	影印Ⅰ p.174、p.440・441
しもむすふ	紙本墨書	24.4×12.8	20.0	〔鎌倉時代〕	古筆了任		影印Ⅲ p.103、p.343・344
かきくらし	紙本墨書	26.1×16.3	23.5	〔鎌倉時代〕	古筆了任		影印Ⅰ p.24、p.328・329
郭公のかたに	紙本墨書	17.1×15.6	15.5	〔鎌倉時代〕	畠山牛庵 (二代)		影印Ⅲ p.43、p.301・302
つらきをも	紙本墨書	22.2×14.6	20.4	〔鎌倉時代〕	川勝宗久		影印Ⅱ p.68、p.381・382
ければよめる	紙本墨書	22.7×10.5	20.4	〔鎌倉時代〕	朝倉茂入 (二代)		影印Ⅱ p.142、p.438・439
そてひちて	紙本墨書	16.8×16.0	16.5	〔鎌倉時代〕	神田道伴 (二代)		影印Ⅲ p.35、p.295・296
兼輔朝臣	紙本墨書	25.5×16.6	21.2	〔鎌倉時代〕	不明		影印Ⅰ p.144・419
題しらす	紙本墨書	23.8×15.4	23.3	〔南北朝時代〕	古筆了榮		影印Ⅱ p.82・392
あすかかは	紙本墨書	24.7×15.8	21.2	〔室町時代〕	古筆了音		影印Ⅰ p.184、p.449・450
よめる	紙本墨書	22.9×12.6	22.0	〔室町時代〕	不明		影印Ⅰ p.232、p.486・487
枇杷殿の皇太后宮に	紙本墨書	25.3×14.3	22.5	〔鎌倉時代〕	畠山牛庵 (二代)		影印Ⅱ p.245、p.522・523
野にも山にも	紙本墨書	26.1×17.2	22.5	〔鎌倉時代〕	古筆了任		影印Ⅳ p.176・423
暮秋の心を	紙本墨書	17.5×15.6	15.5	〔室町時代〕	古筆了仲		影印Ⅲ p.76、p.325・326
大江嘉言	紙本墨書	17.9×16.9	16.9	〔室町時代〕	不明		影印Ⅲ p.84・330
延喜御時の	紙本墨書	25.5×16.6	23.4	〔室町時代〕	古筆了音		影印Ⅲ p.104・345
てる月も	紙本墨書	24.1×15.3	21.5	〔室町時代〕	不明		影印Ⅱ p.75・387
うくひすさそふ	紙本墨書	22.5×16.2	20.5	〔鎌倉時代〕	古筆了祐	裏面(為相)との 書付け有	影印Ⅰ p.147、p.421・422
人のもとに	紙本墨書	16.6×12.8	14.0	〔室町時代〕	不明	元は古筆了珉の 極札有	影印Ⅰ p.158、p.428・429
ふんやのやすひては	紙本墨書	17.2×15.0	16.3	〔室町時代〕	古筆了仲		影印Ⅰ p.160・430
おほかたとのみ	紙本墨書	23.4×13.1	20.5	〔鎌倉時代〕	古筆了音		影印Ⅱ p.13、p.309・310

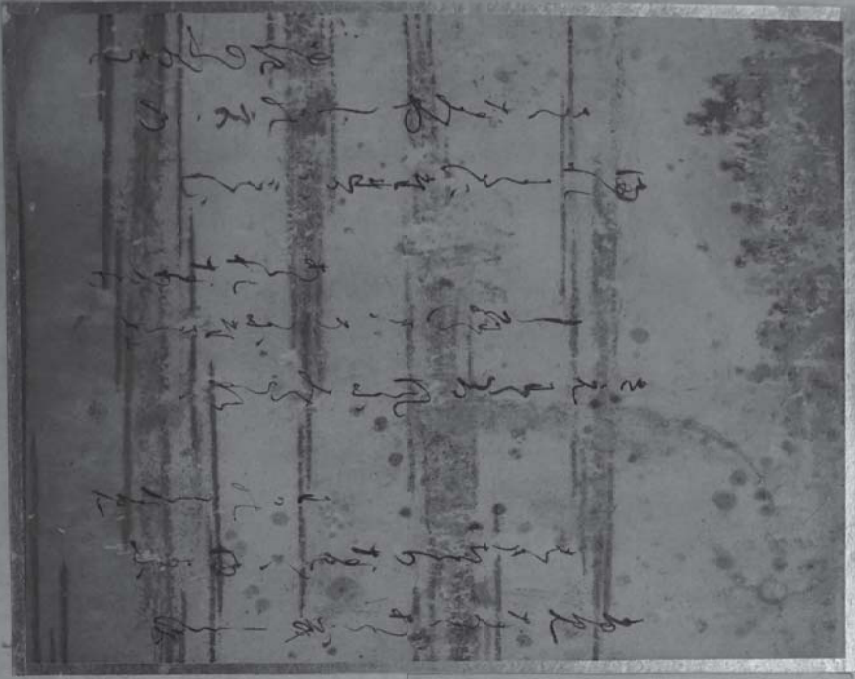
通番	位置	番号	切名	伝称筆者	内容(出典)	卷	部立	書写内容(冒頭)	書写内容(末尾)
29	裏	1	三野切	俊寛僧都	古今和歌集	5	秋下	273番歌	276番歌
30	裏	2	円山切	慈鎮和尚	拾遺和歌集	16	雑春	1055番歌	1058番歌
31	裏	3		西行法師	和漢朗詠集	下	水付 漁夫	515番句	
32	裏	4		寂蓮法師	不明				
33	裏	5		西山慈寛	新古今和歌集	16	雑上	1441番歌	1443番歌上句
34	裏	6		石山座主果守	玉葉和歌集	14	雑1	1928番歌	1930番歌作者名
35	裏	7		頓阿法師	和漢朗詠集	下	眺望	626番句第三句	630番歌
36	裏	8	四半切	兼好法師	古今和歌集	20	大歌所 御歌	1071番歌題	1073番歌上句
37	裏	9		浄弁律師	古今和歌集	5	秋下	293番歌詞書途中	295番歌
38	裏	10		慶運	新古今和歌集	6	冬	609番歌	611番歌詞書
39	裏	11	御家切	五條三位俊成卿	古今和歌集	12	恋二	566番歌	569番歌
40	裏	12		中院重槐為家卿	新古今和歌集	16	雑上	1489番歌詞書途中	1489番歌
41	裏	13		為家卿	拾遺和歌集	15	恋五	947番歌	950番歌詞書
42	裏	14		御子左大納言為氏卿	後拾遺和歌集	19	雑五	1156番歌詞書途中	1157番歌詞書途中
43	裏	15		二條家光家卿	新古今和歌集	4	秋上	316番歌	318番歌作者名
44	裏	16		為兼卿	古今和歌集	9	羈旅	417番歌作者名	418番歌詞書
45	裏	17		二條家為世卿	拾遺和歌集	3	秋	144番歌詞書	148番歌
46	裏	18	佐和山切	二條家為雄卿	古今和歌集	14	恋四	687番歌	690番歌
47	裏	19		二条為遠	古今和歌集	1	春上	45番歌詞書途中	46番歌
48	裏	20	卷物切	御子左黄門為藤卿	千載和歌集	13	恋三	785番歌詞書	786番歌詞書
49	裏	21	島田切	二條家為親卿	続千載和歌集	11	恋一	1112番歌下句	1115番歌作者名
50	裏	22		二條家為定卿	新古今和歌集	5	秋下	521番歌詞書	523番歌詞書
51	裏	23		二條為明	新古今和歌集	18	雑下	1787番歌作者名	1790番歌作者名
52	裏	24	道也切	二條家為重卿	新古今和歌集	1	春上	14番歌詞書	15番歌
53	裏	25	近江切	慶融法眼	拾遺和歌集	13	恋三	791番歌	795番歌
54	裏	26		為相卿	古今和歌集	1	春上	13番歌下句	16番歌上句
55	裏	27		津守國冬	古今和歌集	4	秋上	195番歌詞書	197番歌
56	裏	28		津守國夏	古今和歌集	序	仮名序		
57	裏	29	秋篠切	民部卿局	後撰和歌集	14	恋六	1054番歌下句	1055番歌



国文学研究資料館蔵「古筆手鑑」(ナ 3 - 38)



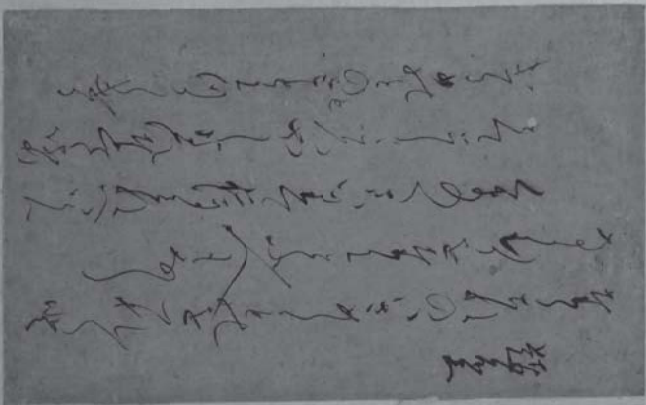
3



魯山先生

全副沈印

2



魯山先生

魯山先生
全副沈印

全副沈印

水善用兮

後伏見院
 風草集
 抄本
 1173

良の御新立御成
 御成御成
 御成御成
 御成御成
 御成御成
 御成御成
 御成御成

龜山院志子
 御成御成
 御成御成
 御成御成
 御成御成
 御成御成
 御成御成

御成
 1175

後二條院
 御筆
 御書
 御筆
 御書
 御筆
 御書

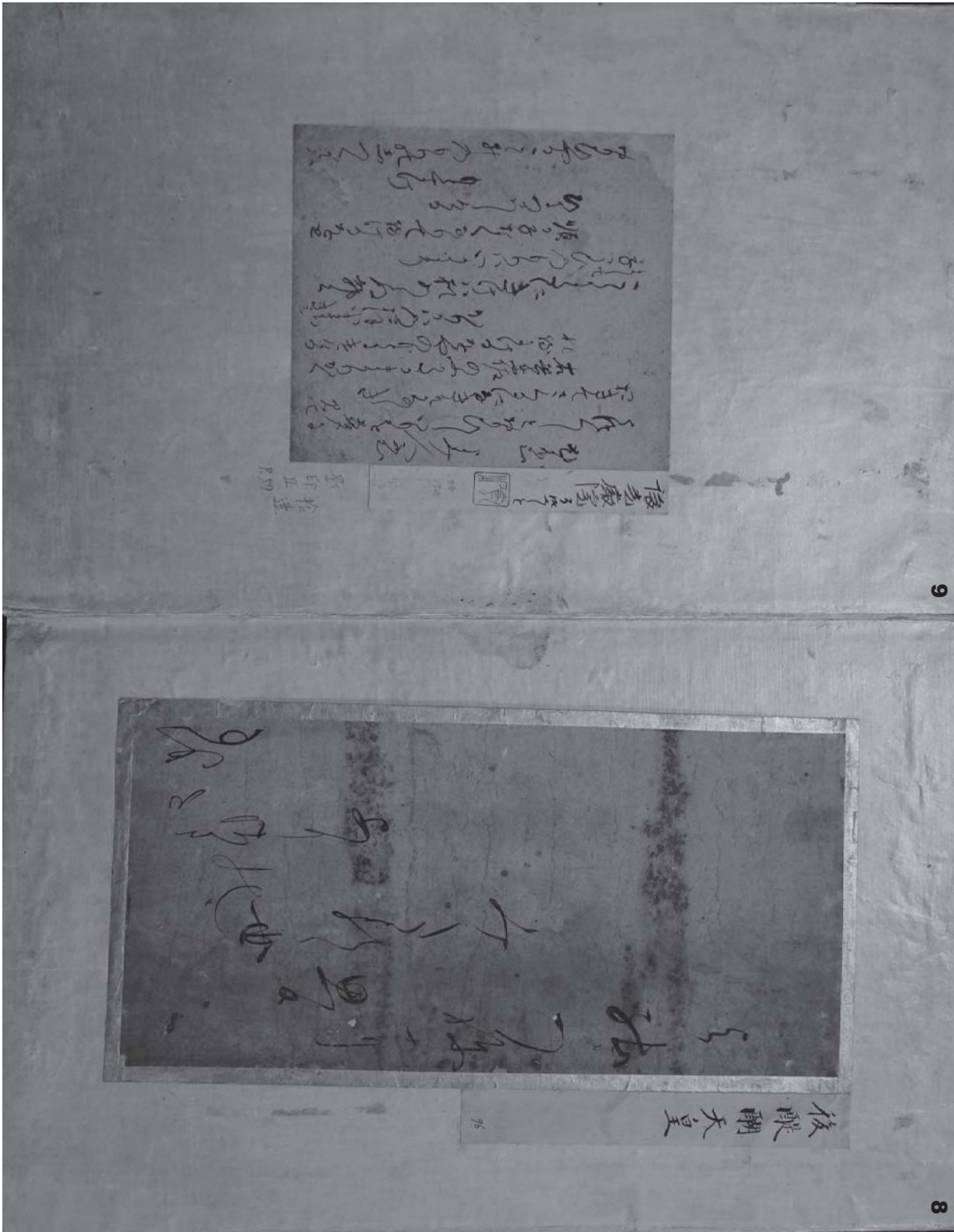
後二條院
 御筆
 御書

後二條院

後二條院
 御筆
 御書
 御筆
 御書
 御筆
 御書
 御筆
 御書

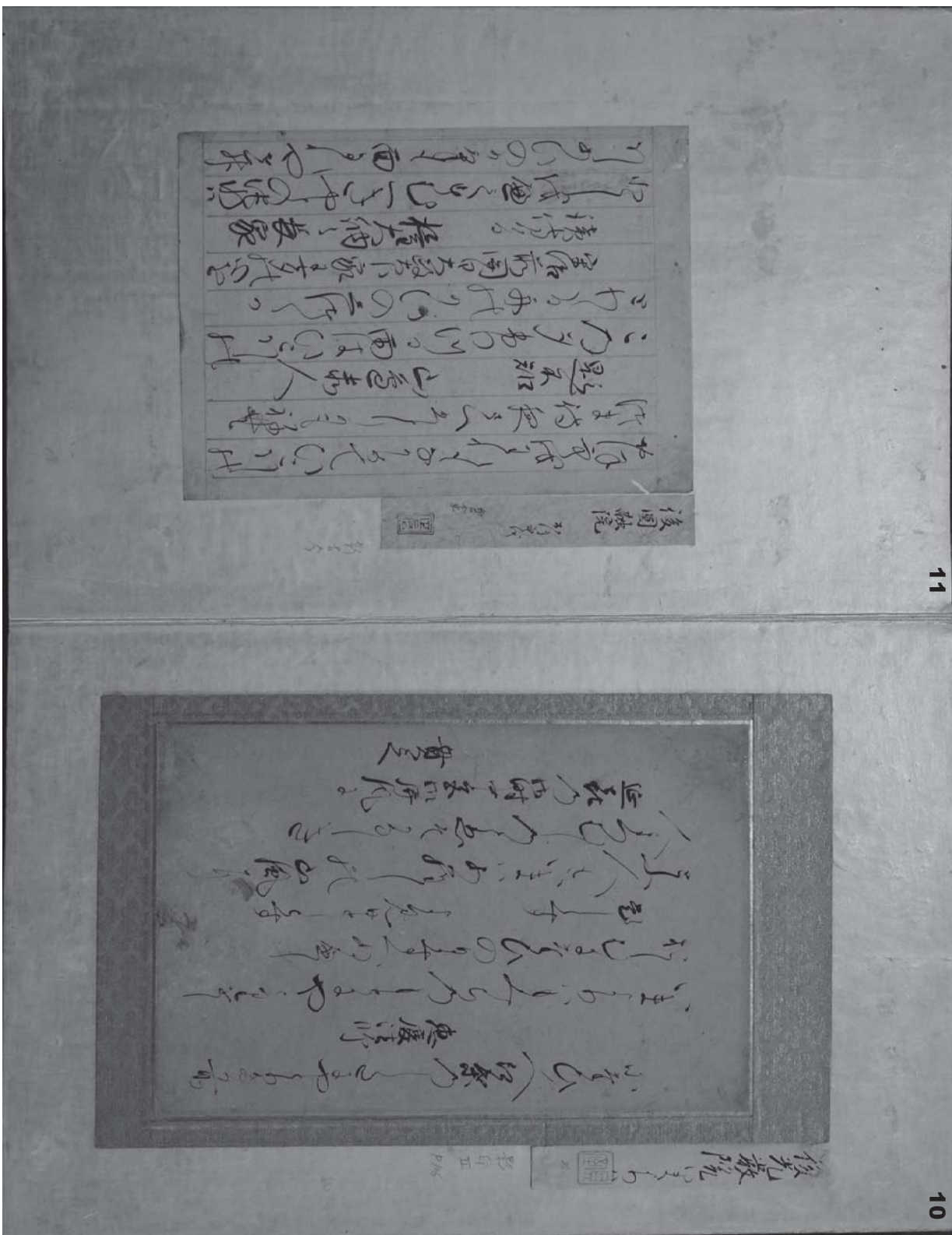
後二條院
 御筆
 御書

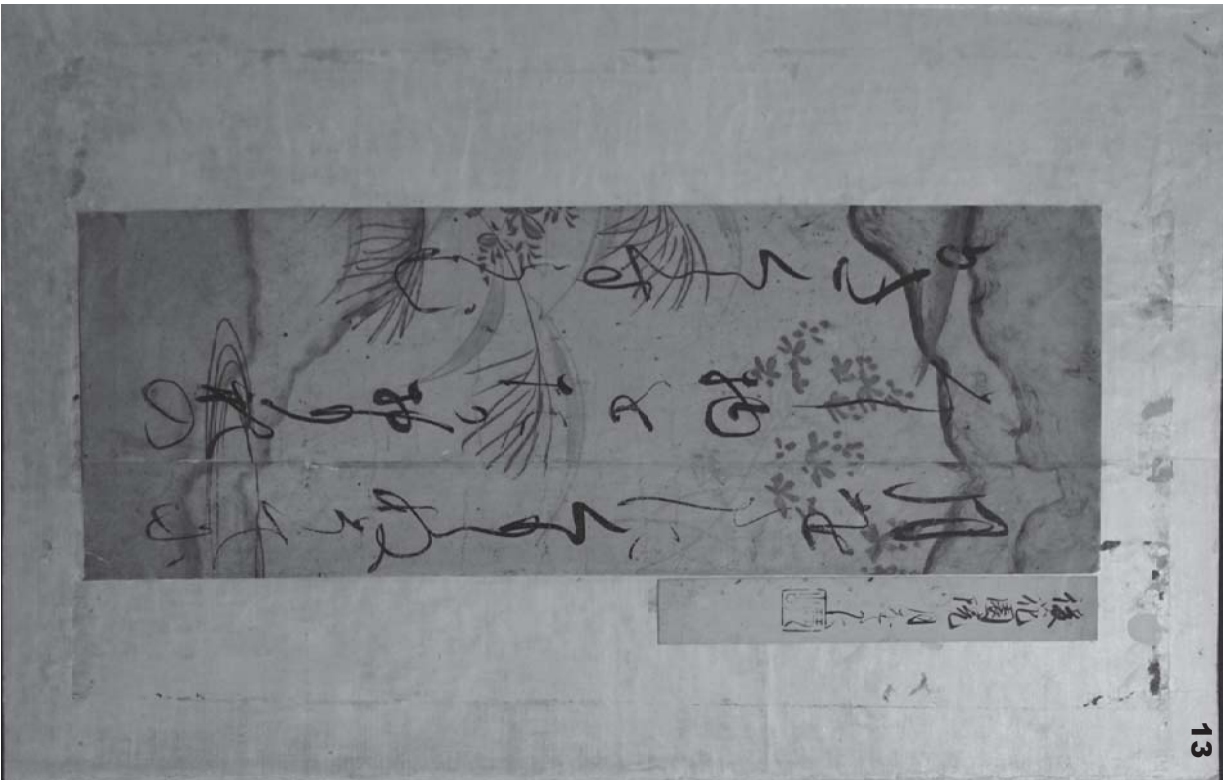
後二條院



9

8





九條故家鄉 見之於
 豐
 和漢朝陽

見之於山之奇巖三十五波自至
 長安城之雲樹百千方翠巒青
 霞霞障浦烟遙湖冰出之塵塵
 行行鳳宮端誠二月餘花里外
 卷眼身來涉雨飛香清雅幾夕如
 三之始之始之始之始之始之始
 五之始之始之始之始之始之始
 義
 義

後系極良經鄉 晴
 和漢朝陽 P.49

四十尺之條
 山晴林官牙 贈
 雲消路落王蕭解馬動春
 晴水面波 於
 霜鶴中舉 板勢奔 孤城
 水之雲清 高之清意之 望

字を以てて
 此の世に於て
 一語を以てて
 此の世に於て
 一語を以てて
 此の世に於て
 一語を以てて

伝藤司基忠筆小倉切

馬引殿基忠公の書

一橋殿兼良公の書
 此の世に於て
 一語を以てて
 此の世に於て
 一語を以てて
 此の世に於て
 一語を以てて
 此の世に於て
 一語を以てて
 此の世に於て
 一語を以てて

影印工

一橋

小倉政實名卿
 影印工 P.218
 小倉政實名卿
 影印工 P.218
 小倉政實名卿
 影印工 P.218
 小倉政實名卿
 影印工 P.218

小倉政實名卿
 影印工 P.210
 小倉政實名卿
 影印工 P.210
 小倉政實名卿
 影印工 P.210
 小倉政實名卿
 影印工 P.210


一 蘇美燈雲外夜數盈財宮中春
 年光易同燈心盡春思唯後秋上生
 冬夜

世尊奉行能佛

和詠 475


八掛卯
 縁道崎
 1447

世尊于彼...
 于彼...
 于彼...
 于彼...
 于彼...
 于彼...
 于彼...
 于彼...

世尊于彼...


影印五
 P.243

世尊于彼...
 于彼...
 于彼...
 于彼...
 于彼...
 于彼...
 于彼...
 于彼...

世尊于彼...


影印五
 P.232

利未神甫補言念三行
 人問答をいひ
 後意は
 信三先生の少くとも
 信三先生の少くとも
 信三先生の少くとも
 信三先生の少くとも
 信三先生の少くとも

従二位家隆斯全集
 新編
 影印四冊

信三先生の少くとも
 信三先生の少くとも
 信三先生の少くとも
 信三先生の少くとも
 信三先生の少くとも
 信三先生の少くとも
 信三先生の少くとも
 信三先生の少くとも

藤原清輔
 影印

古今
 影印 I
 157

伝藤原清輔基内裏切

在媽子塔の石の...
 寫本の...
 板
 名...
 字...
 松紀...
 真信云
 仁...

西山...
 聖德太子...

寂庵法師
 古人...
 西...

此見於柯家...
 新家也...

物畢願之西顧象公表後樓櫺之海
 見之山之高教于林之波自見
 長城之古樹百石石春春去
 老眼易迷孫物之春極雅燈又陽初
 女之十之出之出之出之出之
 之之之之之之之之之之之之

胡適之印集公 P144

何正之印集公 P144

之之之之之之之之之之之之
 之之之之之之之之之之之之
 之之之之之之之之之之之之
 之之之之之之之之之之之之
 之之之之之之之之之之之之
 之之之之之之之之之之之之
 之之之之之之之之之之之之

胡適之印集公 P144

何正之印集公 P144

淨慈法師 集
 卷之四 雜
 淨慈法師集
 卷之四 雜
 淨慈法師集
 卷之四 雜

淨慈法師 集
卷之四 雜

兼好法師 古今集
 卷之四 雜
 兼好法師集
 卷之四 雜
 兼好法師集
 卷之四 雜

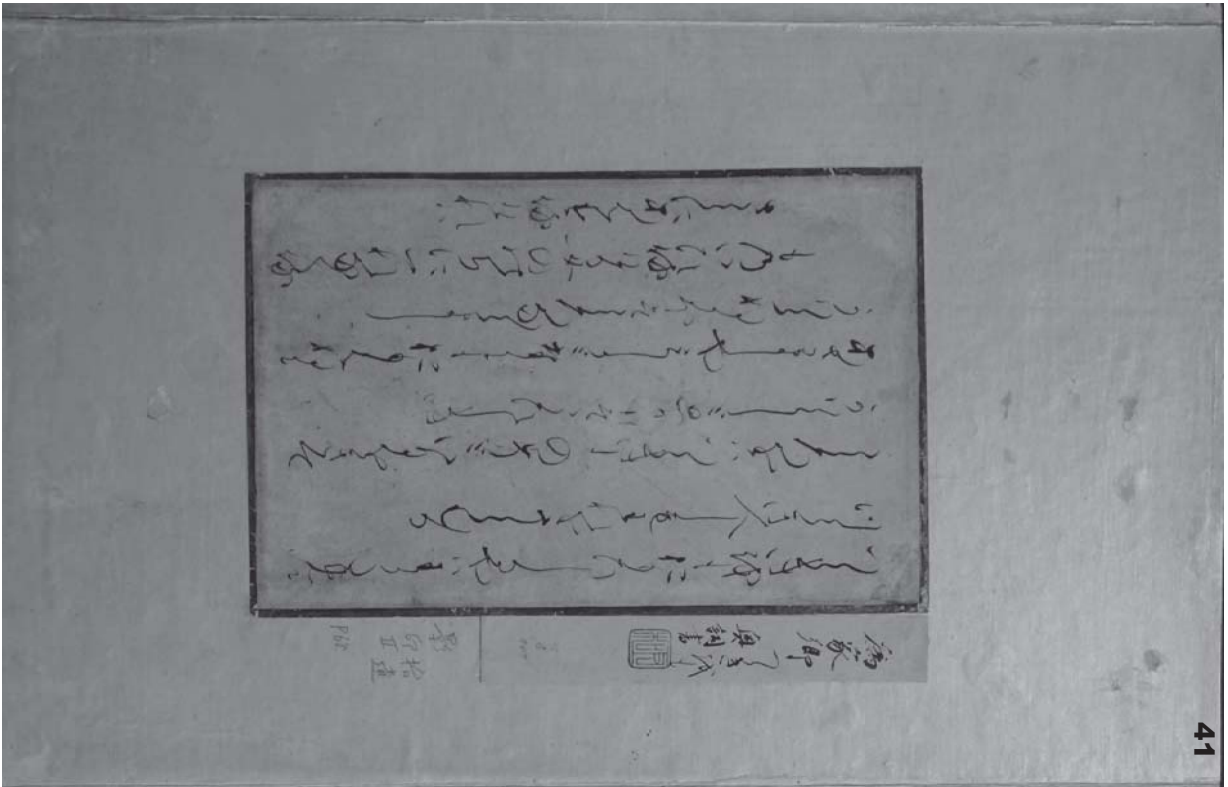
兼好法師 古今集
卷之四 雜

五條三條後城
 影印
 124

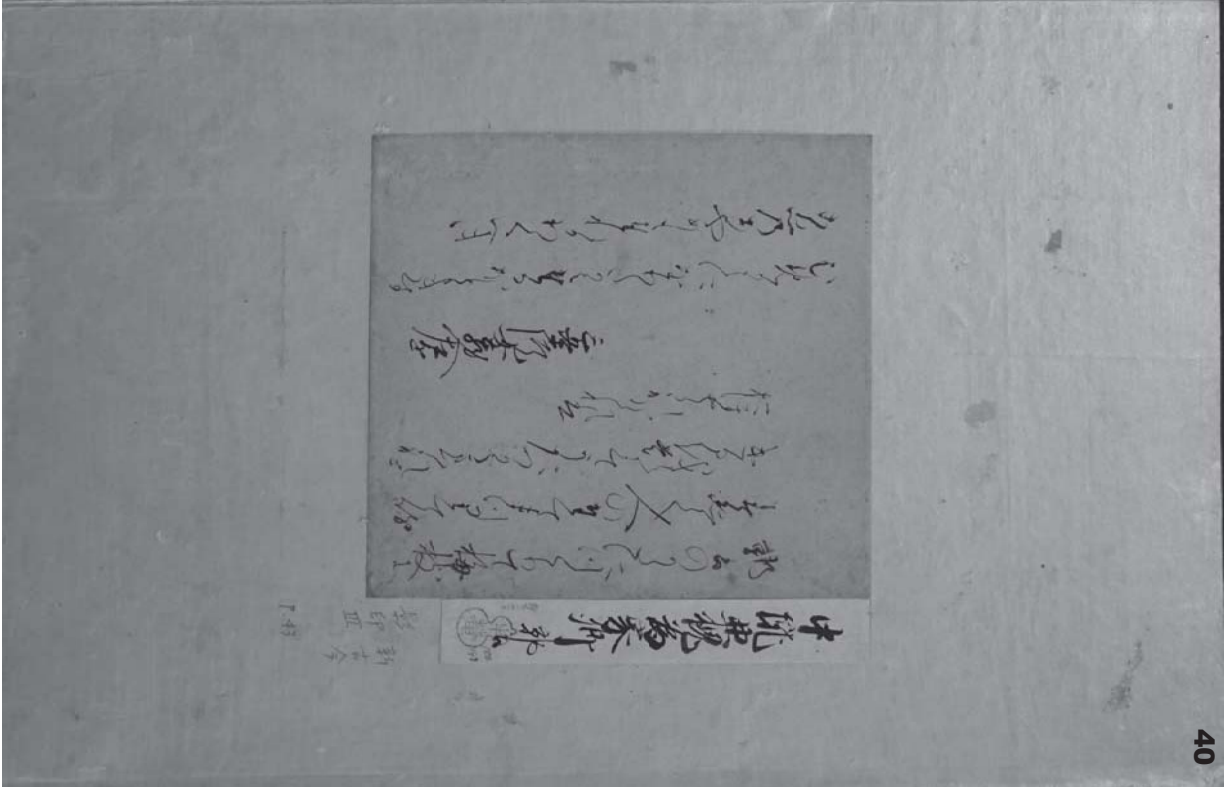
五條三條後城
 影印
 124

慶應和歌堂
 影印
 1103

慶應和歌堂
 影印
 1103



41



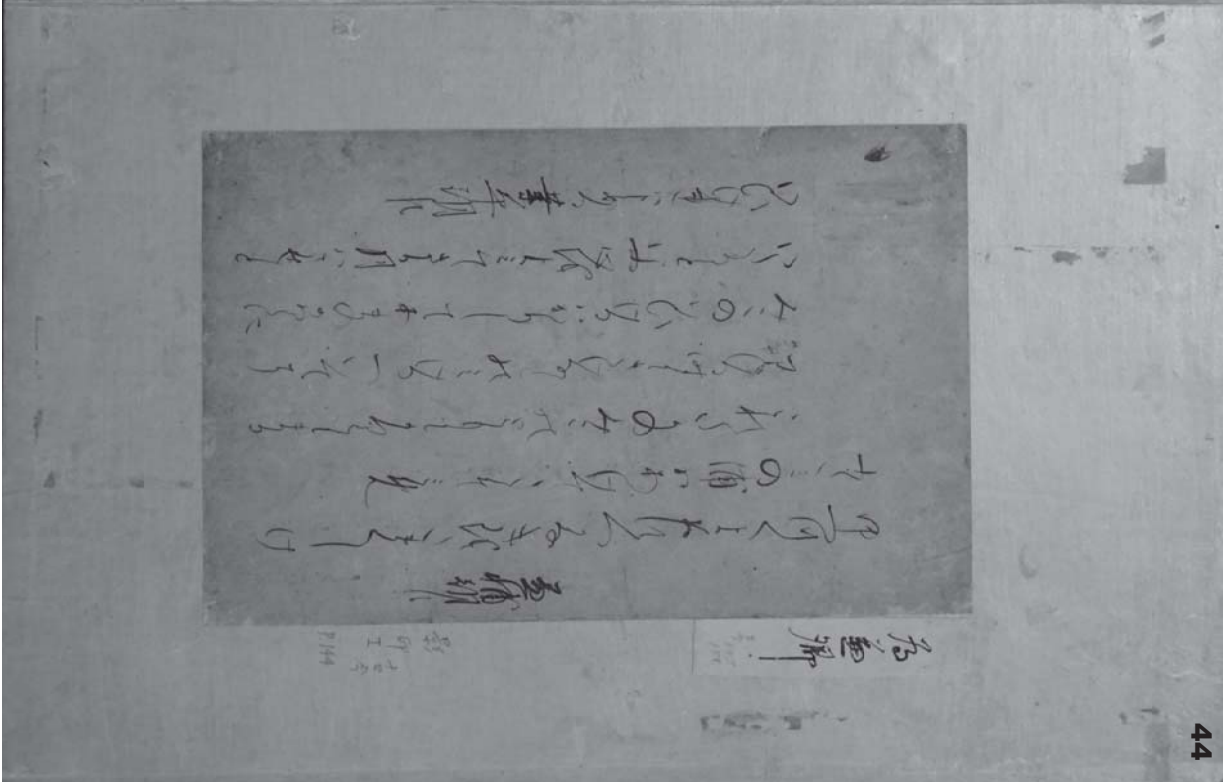
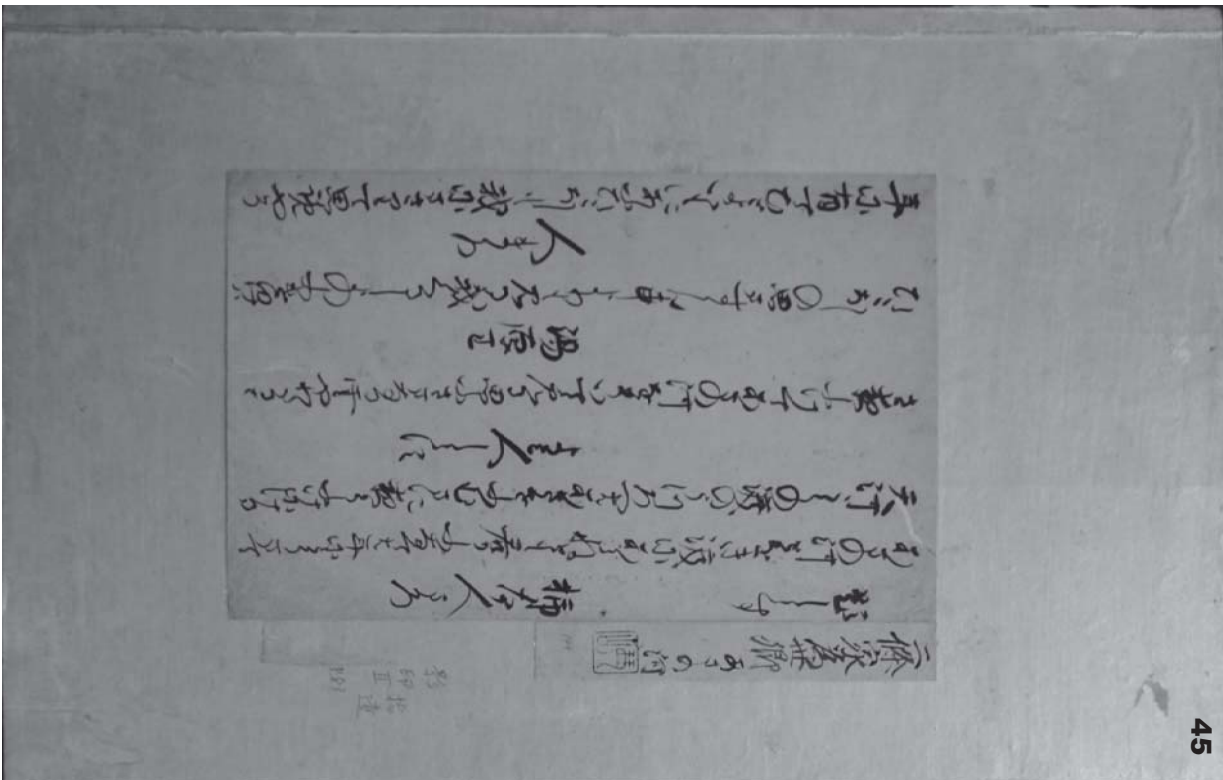
40

一係家光家卿 于以文
 沈子辰訓書式 卷之八
 卷之三
 卷之二
 卷之一
 卷之四
 卷之五
 卷之六
 卷之七
 卷之八
 卷之九
 卷之十
 卷之十一
 卷之十二
 卷之十三
 卷之十四
 卷之十五
 卷之十六
 卷之十七
 卷之十八
 卷之十九
 卷之二十
 卷之二十一
 卷之二十二
 卷之二十三
 卷之二十四
 卷之二十五
 卷之二十六
 卷之二十七
 卷之二十八
 卷之二十九
 卷之三十
 卷之三十一
 卷之三十二
 卷之三十三
 卷之三十四
 卷之三十五
 卷之三十六
 卷之三十七
 卷之三十八
 卷之三十九
 卷之四十
 卷之四十一
 卷之四十二
 卷之四十三
 卷之四十四
 卷之四十五
 卷之四十六
 卷之四十七
 卷之四十八
 卷之四十九
 卷之五十
 卷之五十一
 卷之五十二
 卷之五十三
 卷之五十四
 卷之五十五
 卷之五十六
 卷之五十七
 卷之五十八
 卷之五十九
 卷之六十
 卷之六十一
 卷之六十二
 卷之六十三
 卷之六十四
 卷之六十五
 卷之六十六
 卷之六十七
 卷之六十八
 卷之六十九
 卷之七十
 卷之七十一
 卷之七十二
 卷之七十三
 卷之七十四
 卷之七十五
 卷之七十六
 卷之七十七
 卷之七十八
 卷之七十九
 卷之八十
 卷之八十一
 卷之八十二
 卷之八十三
 卷之八十四
 卷之八十五
 卷之八十六
 卷之八十七
 卷之八十八
 卷之八十九
 卷之九十
 卷之九十一
 卷之九十二
 卷之九十三
 卷之九十四
 卷之九十五
 卷之九十六
 卷之九十七
 卷之九十八
 卷之九十九
 卷之一百

新古今
 影印 Ⅲ
 P43

沈子辰訓書式 卷之八
 卷之三
 卷之二
 卷之一
 卷之四
 卷之五
 卷之六
 卷之七
 卷之八
 卷之九
 卷之十
 卷之十一
 卷之十二
 卷之十三
 卷之十四
 卷之十五
 卷之十六
 卷之十七
 卷之十八
 卷之十九
 卷之二十
 卷之二十一
 卷之二十二
 卷之二十三
 卷之二十四
 卷之二十五
 卷之二十六
 卷之二十七
 卷之二十八
 卷之二十九
 卷之三十
 卷之三十一
 卷之三十二
 卷之三十三
 卷之三十四
 卷之三十五
 卷之三十六
 卷之三十七
 卷之三十八
 卷之三十九
 卷之四十
 卷之四十一
 卷之四十二
 卷之四十三
 卷之四十四
 卷之四十五
 卷之四十六
 卷之四十七
 卷之四十八
 卷之四十九
 卷之五十
 卷之五十一
 卷之五十二
 卷之五十三
 卷之五十四
 卷之五十五
 卷之五十六
 卷之五十七
 卷之五十八
 卷之五十九
 卷之六十
 卷之六十一
 卷之六十二
 卷之六十三
 卷之六十四
 卷之六十五
 卷之六十六
 卷之六十七
 卷之六十八
 卷之六十九
 卷之七十
 卷之七十一
 卷之七十二
 卷之七十三
 卷之七十四
 卷之七十五
 卷之七十六
 卷之七十七
 卷之七十八
 卷之七十九
 卷之八十
 卷之八十一
 卷之八十二
 卷之八十三
 卷之八十四
 卷之八十五
 卷之八十六
 卷之八十七
 卷之八十八
 卷之八十九
 卷之九十
 卷之九十一
 卷之九十二
 卷之九十三
 卷之九十四
 卷之九十五
 卷之九十六
 卷之九十七
 卷之九十八
 卷之九十九
 卷之一百

紋拾遺
 影印 Ⅱ
 P42



Handwritten text in cursive script, likely a signature or calligraphy.

李為遠

影印
1933

Handwritten text in cursive script, including a signature and a date.

李為遠

影印
1934

孫受為想
 影印 卷之四
 影印 P176
 孫受為想
 影印 P176
 孫受為想
 影印 P176
 孫受為想
 影印 P176
 孫受為想
 影印 P176

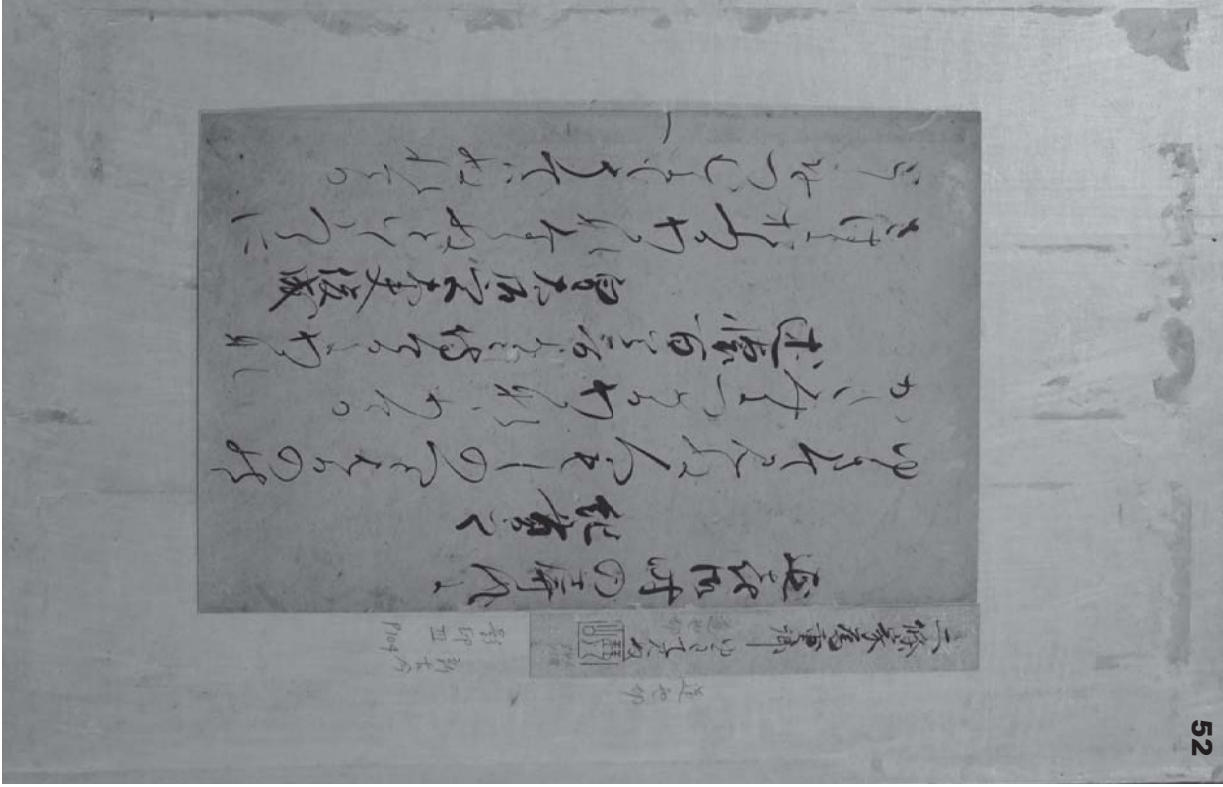
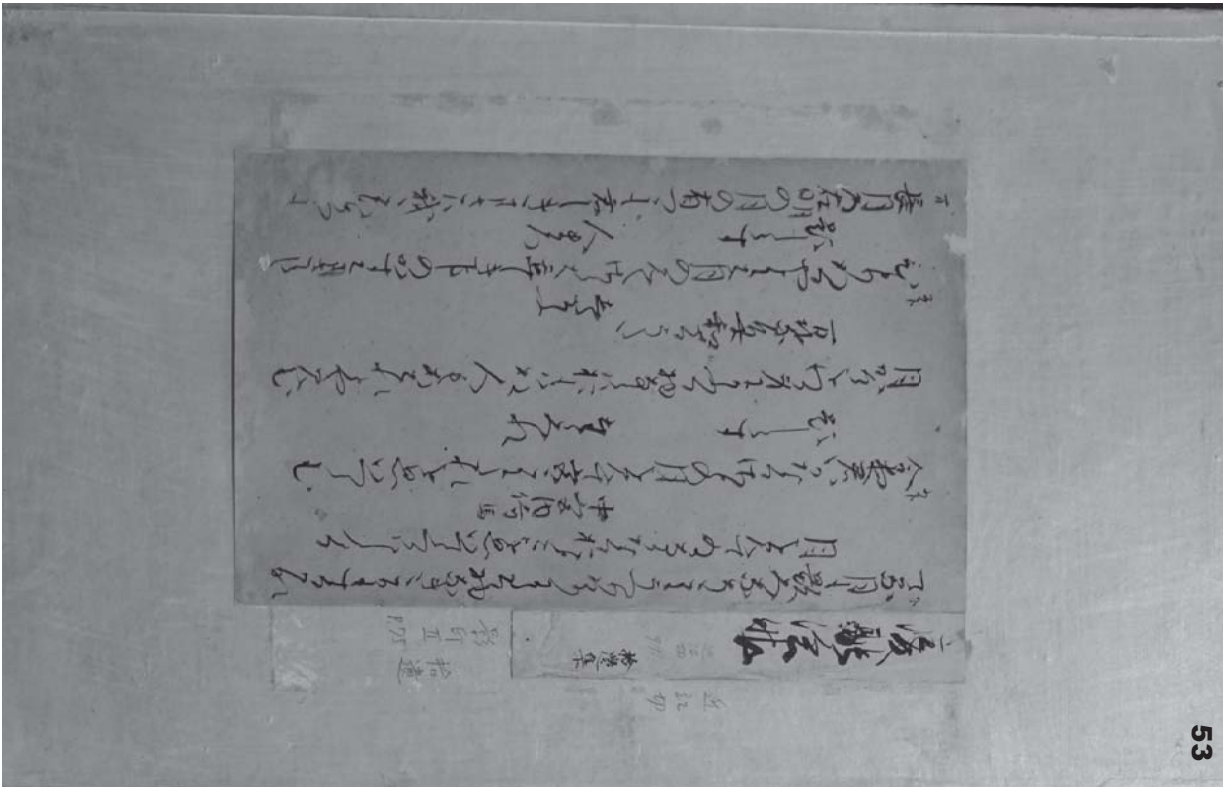
抄本
 影印 P241
 抄本
 影印 P241
 抄本
 影印 P241
 抄本
 影印 P241
 抄本
 影印 P241
 抄本
 影印 P241

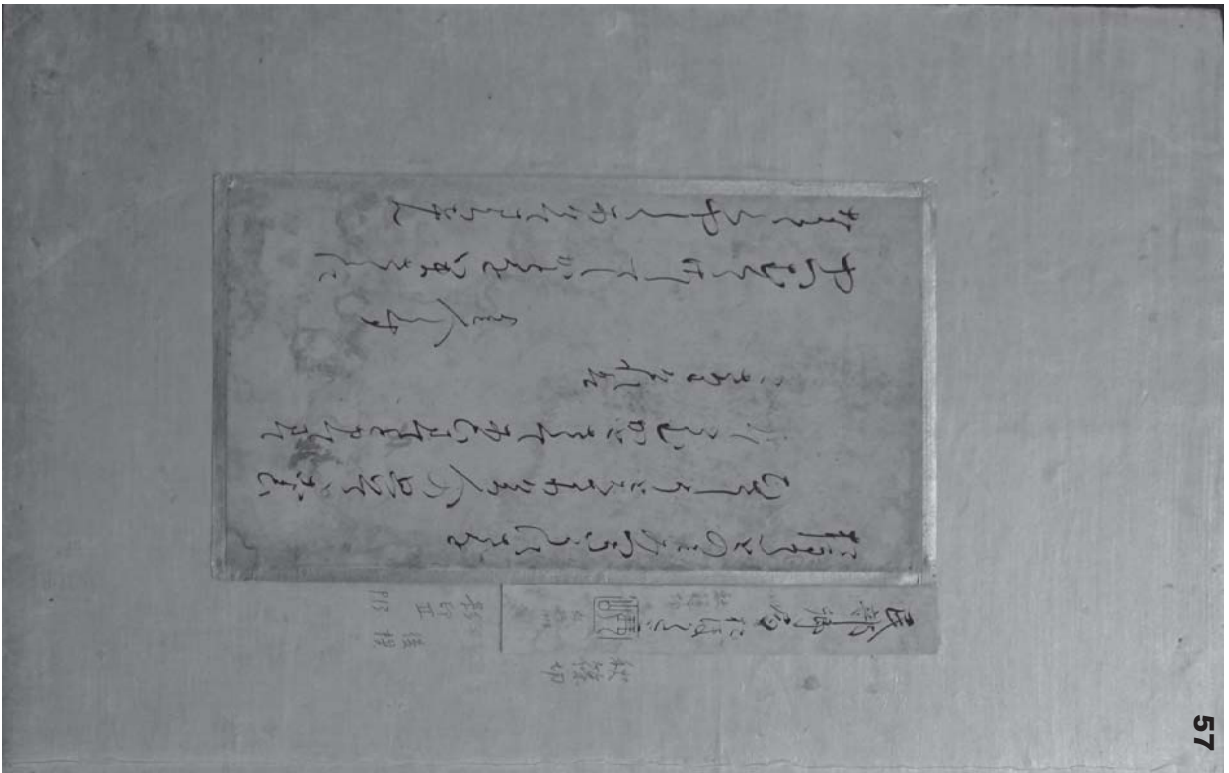
大江真言
 大徳寺
 皇嘉門院
 情慎云
 権牛物子資實

二條為明 新全集
 影印 Ⅱ p.84

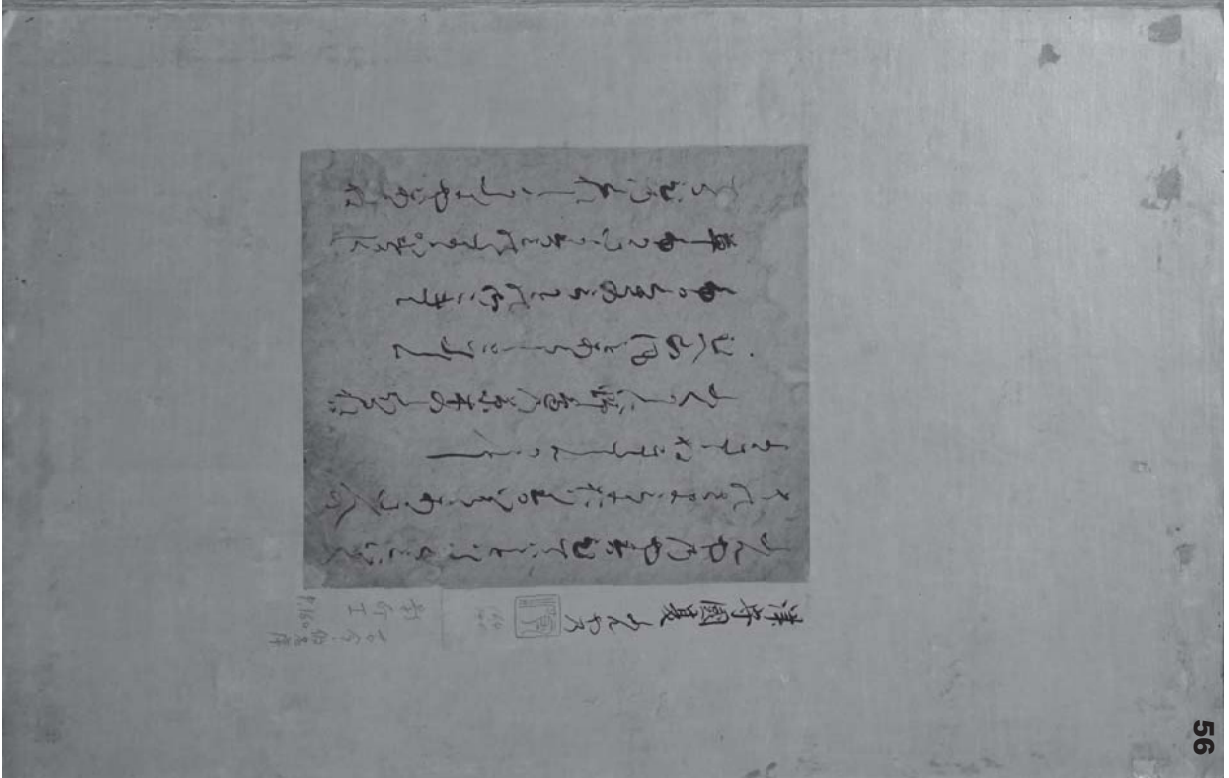
善徳の心
 有月くく至明く平くん
 高き月比る云々
 構致又長持く格々之存有
 高き世格云々
 藤通法師
 いふ此の多し格々之
 長は、痛く屋云々
 格の十一と云々

二條家編定卿 新全集
 影印 Ⅱ p.76





57



56

